

# シカ等による森林被害緊急対策事業

【令和3年度予算概算要求額 204（160）百万円】

## <対策のポイント>

シカ被害の甚大化を防止するため、林業関係者によるシカの捕獲効率向上対策を講じるとともに、捕獲や生息状況把握の省力化、効率化など、効果的なシカ被害対策を実施していく上で特に有効なICT等を活用した新たな捕獲技術等の開発・実証を実施します。また、シカ被害が深刻な奥地天然林等において、国土保全のためのシカ捕獲事業を実施します。

あわせて、近年顕在化しつつあるノウサギ食害の深刻化を防ぐため、対策の検討を行います。

## <事業目標>

効率的・効果的な野生鳥獣害対策手法を林業関係者へ導入。

## <事業の内容>

### 1. シカ捕獲効率向上対策事業 30（-）百万円

○ 林業関係者によるシカの捕獲効率向上のために、狩猟熟練者の技能や最新の捕獲技術等の活用による捕獲技術の導入を図ります。

### 2. ノウサギ被害対策検討事業 30（-）百万円

○ 顕在化しつつあるノウサギ食害に対する効果的・効率的な防御や捕獲等の対策手法の検討を実施します。

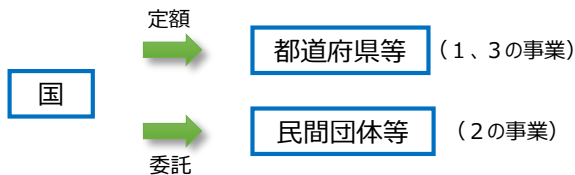
### 3. シカ被害対策技術実証事業 40（20）百万円

○ 効果的なシカ被害対策を実施していく上で特に有効なICT等を活用した新たな捕獲技術等の開発・実証を実施します。

### 4. 国土保全のためのシカ捕獲事業 104（84）百万円

○ 森林の持つ国土保全機能の維持増進を図るため、国有林野内の奥地天然林等においてシカの行動把握調査等に基づく効率的なシカ捕獲を実施します。

## <事業の流れ>

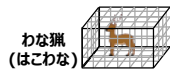


2の一部、及び4は国有林による直轄事業

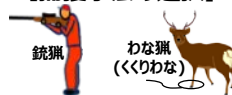
## <事業イメージ>

### 〔シカ捕獲効率向上対策事業〕

➤ 捕獲効率向上のために、実用化した新技術の活用、捕獲手法・捕獲場所の選択といった狩猟熟練者の“勘どころ”技能について、実践・技術導入を行います。



【捕獲手法の選択】



効率よく捕獲する手法を分析する技能



【わなの移動】

捕獲しやすい場所を探し出す技能

### 〔ノウサギ被害対策検討事業〕

ノウサギ食害は1980年代後半を境に減少し、近年100ha前後で推移しているが、防除の知見と労務の不足が懸念されており、捕獲熟度を要さない新たな対策手法が必要。

### 〔ICT等を活用した新技術の開発・実証〕

➤ 赤外線センサーを搭載したドローン等によるシカ生息状況の把握や、ICTやAIを活用した効率的な捕獲手法などの新技術について、開発・実証を行います。



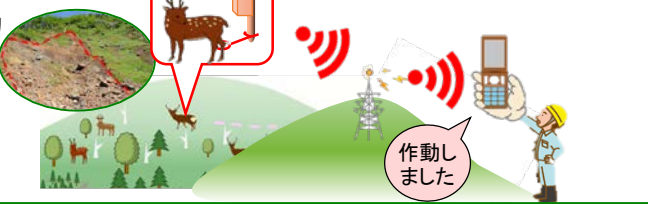
赤外線センサーによる群れの探査



ICT・AIを活用した効率的な捕獲

### 〔国土保全のためのシカ捕獲事業〕

➤ 奥地天然林等において、シカの行動把握等により、効果的なわなの設置による効率的なシカ捕獲を実施します。



作動しました

【お問い合わせ先】 林野庁研究指導課 (03-3502-1063)

林野庁経営企画課 (03-6744-2321)